

手織りのマフラーできました (1月31日)

跡市小学校の3・4年生が機織りに挑戦。自分たちでつむいだ綿の糸を使って、思い思いの柄のマフラーを作りました。

児童たちは地元の住民グループ「わたの里もこもこ」の指導を受け、種まきの段階から綿を育て、タマネギの皮で染色した黄色い糸を作りました。機織りはマフラー作りの最終段階。「もこもこ」の皆さんから「足をしっかり踏んで」「もうちょっとだ」と声をかけられながら、機織り機に糸を通しました。出来上がったマフラーに児童も満足顔で「先生見てー」とニコリ。



すてきな手作りマフラーができました

オニさんなんか怖くない (2月4日)

子育てサポートセンターで節分恒例の豆まき会があり、約60人の親子が、怖いオニを退治しました。

市の若手職員が扮する赤オニと青オニが会場に乱入すると、それまで笑顔だった子どもたちの表情は一変。会場は悲鳴と涙に包まれました。それでも子どもたちは勇気を振り絞り、紙の球を投げて反撃。するとオニたちもたまらず「参りました」と降参しました。

会ではこのほか、合唱や絵本の読み語りがあり、みんなで節分を楽しみました。



怖いオニも最後には「参りました」

元気な歯の秘けつは「磨くこと」

目と県歯科医師会主催の「8020 良い歯のコンクール」で、江津市から4人が優良賞を受賞されました。

皆さんに共通する「歯を保つ秘訣」は、やはり「食後に歯を磨くこと」でした。その他、歯間ブラシを使用するなど気をつけておられました。80歳以上で20本以上自分の歯を保てるよう、歯磨きなど実践していきましょう！

◎優良賞受賞者（敬称略・五十音順）
大屋長行、沖田節恵、齋藤藤一郎、富金原佐吉



賞状を受け取る沖田さん（左）と齋藤さん（右）

広島の皆さん、江津は「ええとこ」よ！

江津市の魅力を広島県民に伝える「江津講座」がこのほど、江津市PRセンター（広島市中区）で開催されました。

江津市の代名詞である神楽、瓦、石見焼、温泉を4回に分けて、江津の達人たちが紹介。受講者の皆さんは、メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。講座が終わると、「面白かった」との声が多くあり、大変好評でした。来年度も実施予定です。

講座では、お茶菓子として善太郎餅など江津産のお菓子も提供し、PRしました。



広島で江津のファンを増やしています